

記入例

地区計画の区域内における行為の届出書

1 令和 3年 5月 8日

稲城市長 殿

届出者 住所 東京都稲城市東長沼2111番地
氏名 稲城 太郎

都市計画法第58条の2第1項の規定に基づき、

2 土地の区画形質の変更
建築物の建築又は工作物の建設
建築物等の用途の変更
建築物等の形態又は意匠の変更
木竹の伐採
について、下記により届け出ます。

記

1 行為の場所 3 稲城市 大字矢野口字宿〇×△番 (〇〇街区△画地)
2 行為の着手予定日 4 令和 3年 6月 15日
3 行為の完了予定日 4 令和 3年 12月 15日
4 設計又は施行方法

| | | | | | | | |
|------------------------------------|-------------------|---------------------------|--|---|---|---|--|
| (1) 土地の区画形質の変更 | | 区域の面積 | | | m ² | | |
| 5 | (2) | (イ) 行為の種別 (建築物の建築・工作物の建設) | | (新築・改築・増築・移転) | | | |
| | 建築物の建築又は工作物の建設の概要 | (ロ) | 届出部分 | 届出以外の部分 | 合計 | | |
| | | (i) 敷地面積 | 6 | | | 234.56 m ² | |
| | | (ii) 建築又は建設面積 | 56.78 m ² | 0 m ² | 56.78 m ² | | |
| | | (iii) 延べ面積 | 7 | 123.45 m ² (123.45 m ²) | 0 m ² (0 m ²) | 123.45 m ² (123.45 m ²) | |
| | | (iv) 高さ 地盤面から 7.890 m | 8 | (vi) 用途 | 9 共同住宅 (4戸) | | |
| (v) 緑化施設の面積 34.5 m ² | 10 | (vii) 垣又はさくの構造 | 11 CB2 段 H=400+メッシュフェンス H=1200 (GL から H=1600) | | | | |
| (3) 建築物等の用途の変更 | (イ) 変更部分の延べ面積 | (ロ) 変更前の用途 | (ハ) 変更後の用途 | | | | |
| | m ² | | | | | | |
| (4) 建築物等の形態又は意匠の変更 | 変更の内容 | | | | | | |
| (5) 木竹の伐採 | 伐採面積 | | | | | | |
| | m ² | | | | | | |

備考

- 届出者が法人である場合においては、氏名は、その法人の名称及び代表者の氏名を記載すること。
- 建築物等の用途の変更について変更部分が二以上あるときは、各部分ごとに記載すること。
- 地区計画において定められている内容に照らして、必要な事項について記載すること。
- 都市計画法第12条の9に規定する内容を定めた地区整備計画の区域内における建築物の建築又は用途の変更については、次によること。
 - 当該建築物の建築については、(2)(ロ)(iii)延べ面積欄の()の中に当該建築物の住宅の用途に供する部分の延べ面積を記載すること。用途の変更があわせて行われるときは、用途変更後の住宅の用途に供する部分の延べ面積を記載すること。
 - 当該建築物の用途の変更については、(2)(ロ)(i)敷地面積の合計欄及び(2)(ロ)(iii)延べ面積の合計欄(同欄中の())は用途変更後の当該建築物の住宅の用途に供する部分の延べ面積の合計欄についても記載すること。
- 同一の土地の区域について二以上の種類の行為を行おうとするときは、一の届出書によることができる。
- 緑化施設の面積は、都市緑地法施行規則第9条に定める方法により算定すること。

連絡先 住所： 東京都稲城市東長沼7777番地
氏名： 梨ノ里設計事務所 担当： 梨ノ里
電話： 111-222-3333

12

記入上の注意

① 届出日

行為の着手予定より30日以上前、かつ、建築確認申請前に届出が必要です。

② 届出の内容

該当する箇所を○で囲んでください。

③ 行為の場所

地名地番で記入してください。建築確認申請書にも同じ地名地番を記載ください。

区画整理事業内で仮換地指定されている土地、または保留地の場合は、土地区画整理法第76条に基づく許可書に記載される地名地番で表記を統一してください(76条に基づく許可書の申請時に表記の確認をして記入ください)。

④ 着手予定日、完了予定日

建築確認申請書と同じ日付を記入ください。

⑤ 行為の種別

該当する箇所を○で囲んでください。

⑥ 敷地面積

地区計画に定める最低限度を下回る面積の場合は、地区計画の告示以前に土地が分割されたことが分かる資料(登記簿の写し等)を添付してください。

⑦ 延べ面積

上段に建築物全体、下段()内に住宅部分の延べ面積を記入してください。

⑧ 高さ

平均地盤面からの高さを記入してください。

⑨ 用途

原則的に建築確認申請書と同じように、実際の用途が分かるように書いてください。

長屋や共同住宅等の場合は、戸数も記入してください。

⑩ 緑化施設の面積

緑化率の制限がない地区は、空欄で構いません。

⑪ 垣又はさくの構造

具体的な形状、基礎やフェンス等の高さ(地盤面からの)が分かるよう記載してください。

「道路に面する部分」のみに制限がある場合は、隣地境界線上の垣又はさくの構造の記入は、不要です。また、取り付けない場合は「なし」と記入してください。ただし、「なし」と届出た後に、垣又はさくを取り付ける際には、別に届出が必要です。

⑫ 連絡先

届出書の内容確認や適合通知書の発行時に連絡します。連絡が取れる担当者等を記入ください。